

西天竜幹線水路 流末の階段工 (小沢のそろばん滝) おざわ だき

画期的な大工事

西天竜幹線水路の末端の水を小沢川へ落とすためにつくられた階段工。困難な工事の末、完成した。その後、用水の落差を活用した発電所が東側に設置されることとなり、発電所は1961(昭和36)年に完成した。用水路の水は導水管により発電所に入ることとなり、それ以来、階段工は使われなくなった。



現在は使われていない階段工



急な落差のため、階段状に作られた河床底部

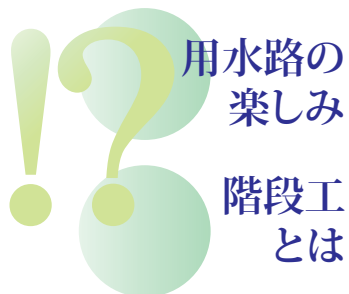
information

□ アクセス

伊那ICから3Km
車→10分

□ 所在地

伊那市小沢



用水路の
楽しみ

諏訪湖から流れてくるウナギやワカサギがときどき捕れたため、近所の子どもたちは楽しみにしていた。

階段工
とは

急な川底の勾配を階段状にすることで、水が流れるスピードを遅くする工夫がなされた工法。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)